

報道発表

【令和6年8月23日】

COCORONOMICHI



COCORONOMICHI
Seaside Town Onomichi

尾道市福祉保健部健康推進課
元気づくり係（担当）野坂
電話 〔直通〕(0848)・24-1962
〔代表〕(.....)..... なし
〔内線〕... なし
FAX (0848)・24-1966
E-mail kenko@city.onomichi.hiroshima.jp
〒722-0017 尾道市門田町 22-5

件名

尾道市における市民の転倒予防に関する検証の実施について

尾道市は、県立広島大学等と共同し、転倒予防に関する検証を実施し、主に高齢者等の抱える転倒リスクの予防や事故防止を目指して取り組むことになりましたのでお知らせします。

本件は、県立広島大学、横浜国立大学の研究シーズを UNTRACKED 株式会社が実用化した、わずか1分で参加者の転倒リスクの検査が可能な立位機能検査装置「StA2BLE（ステイブル）」を使って立位年齢（相応した年齢の立位能力）を見える化し、計測結果に基づいて、AI を使って参加者に適切な改善プログラムを提案します。今年度9月から3月に尾道市内のさわやか健康大学、尾道市健康推進課では、計2回の計測会を通じて改善プログラムの継続率や転倒リスクの改善などを確認し、改善プログラムの効果を検証します。
また、11月の市民健康まつりでも、即時効果判定として実施予定です。

<市長定例記者会見>

- 日時 令和6年8月23日（金） 11時00分～
（市長定例記者会見時）
- 場所 尾道市役所本庁4階 委員会室

*詳細については、添付のとおり

【添付資料】

有 無



尾道市
ONOMICHI CITY

YNU
横浜国立大学

県立広島大学
Prefectural University of Hiroshima

UNTRACKED
一人も高齢者を後遺症で切らない

Press Release

令和 6年 8月 23日

広島県尾道市で市民の転倒予防に関する検証を実施

県立広島大学、横浜国立大学の研究シーズを UNTRACKED 社（※1）が実用化した「転倒予防ソリューション」を活用し転倒リスク計測や継続的トレーニングによる改善効果を確認



尾道市過去の健康イベントの様子

尾道市は市民の健康について意識しながら、転倒予防の取り組みを行います。この取り組みでは、県立広島大学および、横浜国立大学等と共同して、2024年度9月から3月にかけて、尾道市内で実施する「さわやか健康大学（久保、高須）」、11月の「市民健康まつり」、尾道市健康推進課にて、転倒予防に関する検証を実施します。

本検証では、県立広島大学、横浜国立大学の研究シーズを、UNTRACKED 株式会社の実用化した「StA² BLE（ステイブル）」という装置を使用します。ステイブルは、わずか1分で参加者の転倒リスクを計測し、立位年齢[®]（相応した年齢の立位能力）として可視化することができます。計測結果に基づき、AIを使って参加者に最適な改善プログラムを提案します。

さわやか健康大学、尾道市健康推進課では、2回の計測会を通じて、改善プログラムの継続率や転倒リスクの改善状況を確認し、その効果を検証します。

尾道市（市長：平谷祐宏、以下、尾道市）、県立広島大学（学長：森永力、以下、県立広島大学）、横浜国立大学（学長：梅原出、以下、横浜国立大学）並びに横浜国立大学発ベンチャーの UNTRACKED 株式会社（本社：神奈川県横浜市、代表取締役 COO：神谷昭勝、以下、UNTRACKED）は、共同で市民の転倒予防に関する中長期的な検証（以下、本検証）を行います。本検証は、尾道市の健康イベント（参加無料）として実施します。

■尾道市での転倒予防に関する検証の概要

名称	概要	期間
さわやか健康大学の健康イベント等における転倒リスク計測システムを活用した転倒予防実証実験	① 「ステイブル」を活用した転倒リスク計測 ② 個々の評価に応じた改善プログラムの提案 ③ 改善プログラムによるリスク低減効果確認	2024年9月2日（月） 10月18日（金） 2025年1月27日（月） 2月21日（金）
尾道市健康推進課職員	同上	調整中

おのみち市民健康まつり	① 「ステイブル」を活用した転倒リスク計測 ② 個々の評価に応じた改善プログラムの提案	2024年11月10日(日)
-------------	--	----------------

※1【ホームページ】 <https://www.untracked.co.jp/>

【本社】〒240-8501 横浜市保土ヶ谷区常盤台 79-7 横浜国立大学総合研究棟 E206-1A

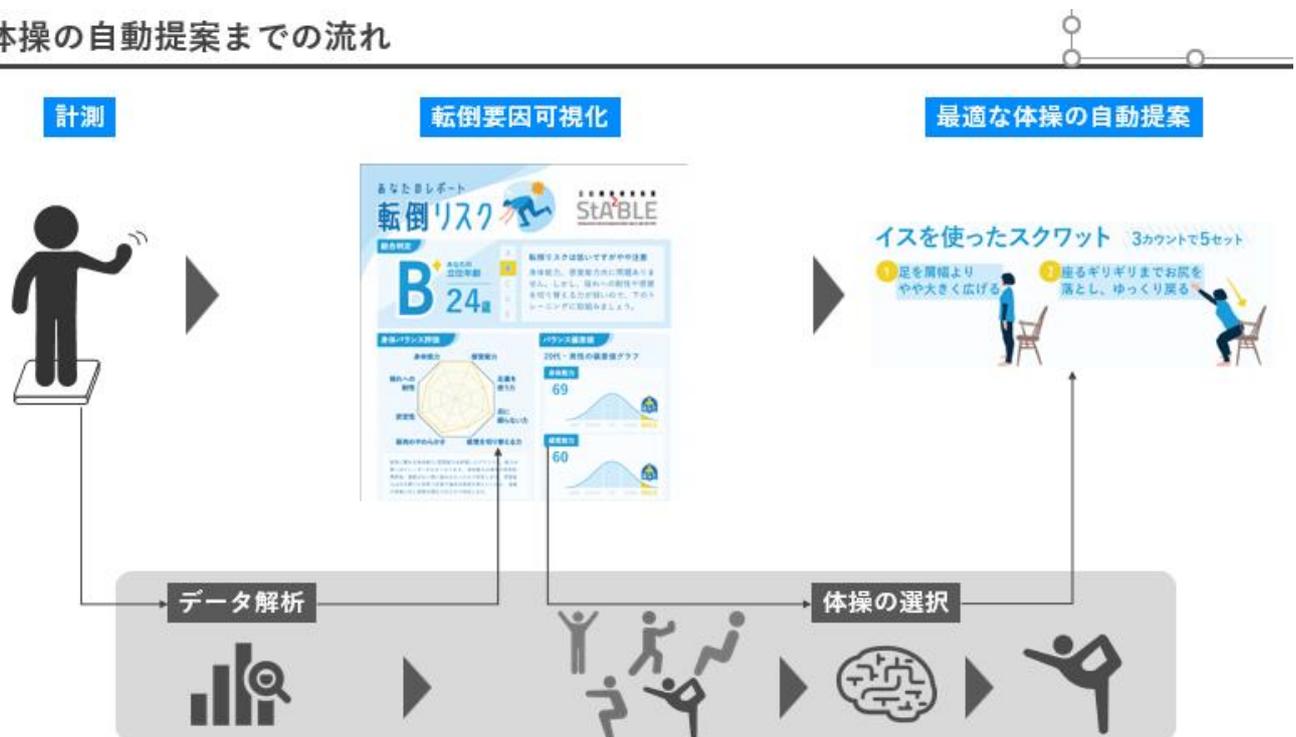
■各者の役割

	役割
UNTRACKED	計測システムの開発、改善プログラムの提供、計測の支援
横浜国立大学	本検証の総合的な実施・運営、計測システムの開発、データ分析
県立広島大学	転倒予防に関する講演、計測および計測結果の説明、改善プログラムの実施
尾道市	地域関係機関と健康イベントの共催

■検証の流れ

- ・使用機種：転倒リスク計測システム StA²BLE (UNTRACKED 社製)
- ・検証手順：

体操の自動提案までの流れ



■転倒予防ソリューションについて

【立位機能検査装置 StA²BLE】



横浜国立大学等による研究成果に基づき、UNTRACKED が独自開発した転倒リスクの計測技術を用いた装置です。

本計測技術は、厚生労働省による令和3年度「高齢労働者安全衛生対策機器実証事業」において、転倒リスク評価手法としての有効性が実証されています。

ヒトが何かに触れていると安定する現象の「ライトタッチ効果」を応用し、壁に手を添えている状態／添えていない状態を仮想的に現出。指先から足裏に感覚を切り替える速度から推定できる感覚能力を評価することで、身体能力と合わせ、総合的に「立位年齢（転倒リスク評価を加味した年齢）」を算出します。



本計測技術は、厚生労働省による令和3年度「高年齢労働者安全衛生対策機器実証事業」において、転倒リスク評価手法としての有効性が実証されています。ヒトが何かに触れていると安定する現象の「ライトタッチ効果」を応用し、壁に手を添えている状態／添えていない状態を仮想的に現出。指先から足裏に感覚を切り替える速度から推定できる感覚能力を評価することで、身体能力と合わせ、総合的に「立位年齢（転倒リスク評価を加味した年齢）」を算出します。

【改善プログラム】

本計測で得られる身体機能と感覚機能の評価結果に応じて、個々に最適な改善トレーニングを提案します。本検証では、参加者にフィードバックする評価レポートに記載した改善トレーニング内容を、主催者から参加者に説明します。トレーニングを継続的に実施いただき、次回の健康イベントでの計測で改善効果を確認します。



本件に関するお問い合わせ先

<健康イベントに関するお問い合わせ>

広島県尾道市 健康推進課元気づくり係 TEL : 0848-24-1962

E-mail : kenko@city.onomichi.hiroshima.jp

<研究に関する問い合わせ>

県立広島大学保健福祉学部理学療法学コース 教授 島谷 康司

E-mail : shimatani@pu-hiroshima.ac.jp

横浜国立大学環境情報研究院 教授 島 圭介

E-mail : shima@ynu.ac.jp

<UNTRACKED 株式会社と製品に関する問い合わせ>

UNTRACKED 株式会社

E-mail : info@untracked.co.jp

URL : <https://www.untracked.co.jp/>